

しんあい

季刊

2022年(令和4年)12月20日発行 第124号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL 042-367-8801

<https://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい!



年末の気忙しいなかでツリーの飾り付けをお手伝いいただきました (泉苑)

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
- ・府中市地域包括支援センター 泉苑

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- ・府中市地域包括支援センター 緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市地域包括支援センター あさひ苑
- ・府中市高齢者住宅うらら多磨

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・高齢者あんしんセンター 神田
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ
相談センター

児童福祉

- ・母子生活支援施設 網代ホームきずな
- ・母子生活支援施設 白鳥寮
- ・子ども家庭支援センター しらとり
- ・府中市子ども家庭支援センター たっち

◆ 社会福祉法人を考える15
～当法人の自己紹介③～

◆ 私の施設の自慢の職員
PART4

◆ 施設だより
「2022年を振り返る」



社会福祉法人 を考える 15

～当法人の 自己紹介③～



当法人の自己紹介 3回目となります。第1回は法人の全体像をご紹介するために3ヵ年計画。第2回は法人のガバナンス体系と法人経営を推進する体制(全施設を横断して構成する)をご紹介しました。今回は各施設、各事業、全職員による業務管理体制についてご説明します。

下記の業務管理体制のチャートは2006(平成18)年度に作成し、年度ごとに若干の追加修正を加えながら、2022年度版になります。それぞれの責任体制のもとで、法人事業(対利用者)に果たすべき役割を整理し、チームとして、係・事業として、施設としての業務管理体制です。

一方、こうした業務体制の遂行に対し、内部管理体制として2019(令和元)年度内部管理委員会(事務局、高齢施設一府中・神田、母子施設の各部門にて構成)が発足し、年一回事業ごとの相互チェック方式で業務内容の適正化に努めています。ちなみに事務局内部では、20年以上前より経理担当者が年2回内部会計監査を実施し、お互いの施設の会計処理について相互点検を行うとともに、学び合う取組を行い、事務局職員のスキルアップにも成果をあげてきました。

なお外部の主な評価・検査は、年1回事業所単位で福祉サービス第三者評価を受審し、法人・施設・事業所に対し1年～3年に1回東京都や所在する府中市・千代田区の検査、及び年1回の会計監査人監査や年度末の監事監査があります。

コンプライアンスが重視され、契約によるサービス提供の制度下で求められる体制ですが、当初は管理という言葉になかなかなじめなかった福祉現場です。

各施設の体制

組織規程に基づく辞令により各施設の組織を構成し、施設単位の業務管理体制とします

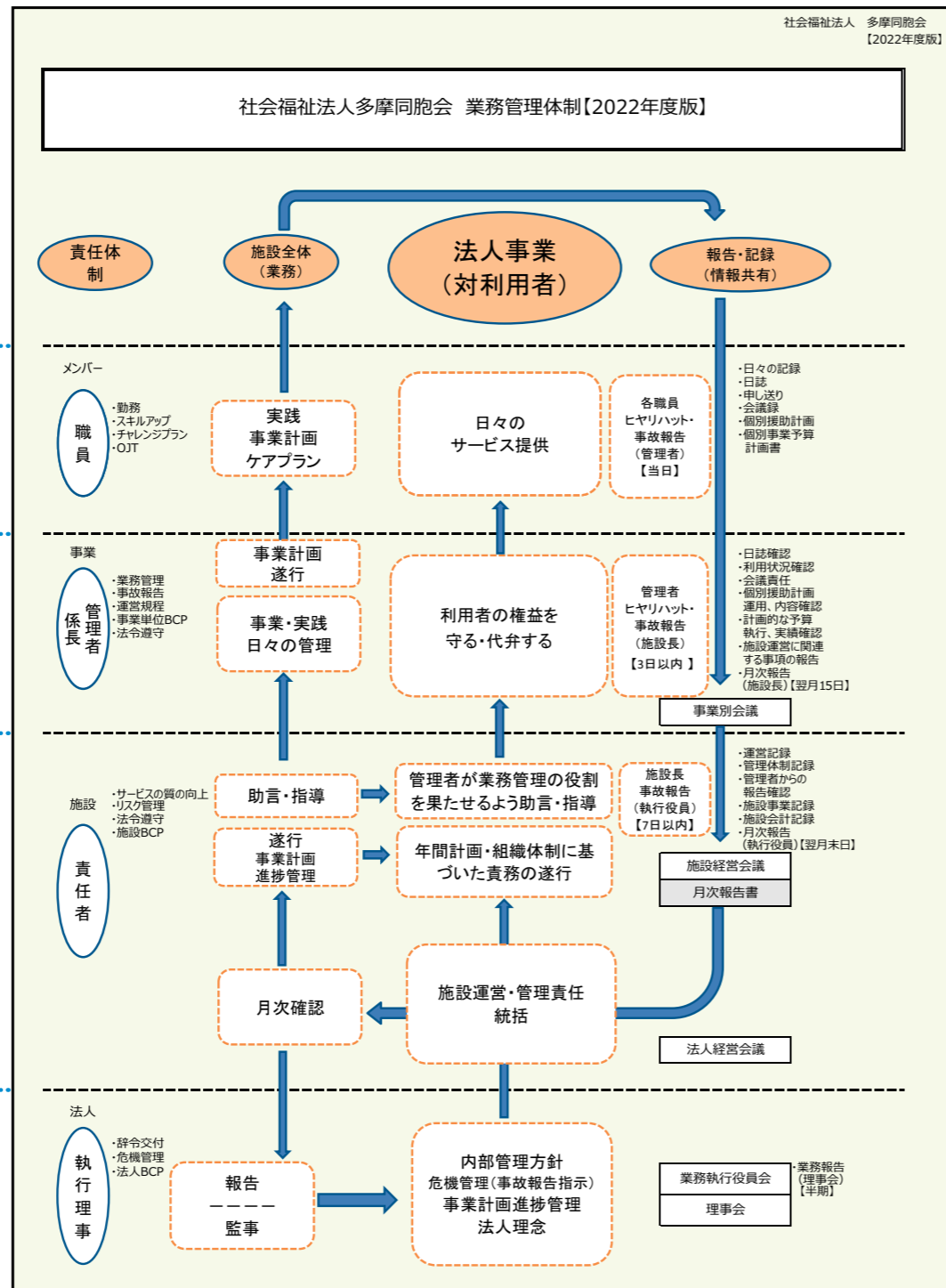
職員はチーム単位でリーダー・主任を中心に直接ご利用者にサービスを提供します

事業ごとの係長、管理者はその事業の責任者として、利用者の権利を守り、時には代弁する役割を果たします

施設の責任者(施設長)はセンター長、副施設長とともに自施設の統括的役割を果たします。

施設長は事業や予算執行状況等について毎月の月次報告書で理事長に報告します。

理事長及び業務執行理事は、通常業務の他、今年度は危機管理室を常設しリスクマネジメントに重点的に取り組みます。



例えば…事故発生の場合 (リスクを5段階に分類・区分しています)

発生から対応協議

職員は、事故発生を直ちに周囲の職員に知らせ、可能な応急対応とともに当日の責任者や看護師に速報し適切な対応に努めます。

管理者は、施設長に可能な限り早期報告し、指示を受けて対応対策を行います。
※ご家族への連絡、自治体へ報告します。

施設長(緊急時は管理者)は速やかに担当の業務執行理事、緊急時には理事長に即報し、必要な場合は指示を受けて対応します。

施設内情報伝達、再発防止に取組み、施設全体で共有します。必要な場合は他施設に共有、検証、研修等に取り組みます。

危機管理室には、オンラインでリアルタイムに施設長から担当理事に報告が入ります。担当理事は必要に応じて理事長に報告します。月例会議を行い、適切な対応、再発防止、研修等について協議します。

2021年度は、前年から続くコロナ禍で感染予防対策や対応に終始した日々になりました。加えて泉苑では前年度後半に事故、事件が続く、法人全体としてリスク管理が問われ、重い年度となりました。

これを受けて倫理綱領の策定や研修の見直しとともに、2022年度の業務管理体制に事故報告の流れを明示し、早期報告により、適切な対応、再発防止、他施設への共有、予防につなげる取組を強化しました。

理事長の下、業務執行理事を中心に危機管理室を常設し、グループウェアを通じて事故発生後速やかな報告、適切な指示、早期対応に努めています。

基本の業務管理体制をベースに、年度により強化する課題等を追加修正しながら、ひとりひとりの職員が自らの役割を果たし、ご利用者、ご家族、地域のみなさまの信頼を築いて参りたいと願っています。

わたしの施設の自慢の職員 PART 4

大好評のこの企画も第4弾となりました。多摩同胞会の正職員は約300名。今回も高齢施設、児童施設の各部署から頼もしい職員をご紹介します。コロナ禍でも、自慢の職員たちはチームワークで法人理念の実現に向けて取り組んでいます。

かんだ連雀の自慢の職員

友田 充洋さん
(相談員/社会福祉士)

2010年4月、新任職員として特別養護老人ホームかんだ連雀に配属された友田さん。「人生を百戦錬磨で乗り越えてきたご利用者のお相手は務まるのかしら」と少々心配ではありましたが…その後、私が府中市内の施設に異動になり、10年の時を越え、2021年4月、高齢者あんしんセンター神田(千代田区神田地域包括支援センター)で再会することとなったのです。地域の高齢者のお宅を困りごとがないか訪問してまわる、「高齢者見守り相談窓口業務」を友田さんと共に担当することになり、今では彼の成長に驚かされる毎日です。きっと、この10年の間に様々な経験を積んできたのだらうなあと想像します。部署内では最年少の彼ですが、職員の間では、「友田さん!」「友田さん!」と声をかけられ、とても頼もしい存在になっています。

友田さんよりひと言

入職当時は特別養護老人ホームの介護員として勤務し、高齢者あんしんセンター神田(千代田区神田地域包括支援センター)に異動し6年目を迎えました。異動当初は介護員から相談員になったことで仕事内容もガラッと変わり、右も左もわからず悪戦苦闘しておりました。現在は「高齢者見守り相談窓口業務」を峯田さんと担当し、神田地域にお住いの高齢者のお宅を日々訪問する毎日です。その中で「気にかけてくれると安心する」「相談先を知ることができよかった」等のうれしいお言葉をいただくことも増えてきました。神田地域にお住まいの方が「安心」して生活を送れるように支援していきたいと思っています。



岩本町ほほえみプラザの自慢の職員

君塚 美咲さん
(グループホーム介護員/介護福祉士)

グループホームに配属になって4年目の君塚さん。認知症ケアは、なかなか思うようにいかないことも多く、戸惑い、悩みながらも日々奮闘しご利用者一人ひとりと向き合い丁寧な支援を心がけています。笑顔絶やさず人懐っこい性格の君塚さんは、グループホームのご利用者の皆さんにとって「太陽」のような存在です。これからも、ご利用者が穏やかでその人らしく生活が送れるような支援を提供できるよう君塚さんの今後の成長を期待しています。

(グループホーム係長 高橋 愛)

君塚さんよりひと言

グループホームのご利用者に関わる時間が多くなったことで、私の顔を覚えてもらえるようになりました。そうなることでお互いに話やすくなり支援の幅が広がります。これまで、ご利用者とそのご家族が楽しめるイベントがあったのですが、コロナウイルス感染症対策のため活動の制限をしていました。イベントを再開したら日々の生活に楽しみが持て、気持ちが明るくなると思っています。ご利用者が毎日笑顔あふれる生活を送ることができるよう、これからも全力で他職員と協力して支援していきたいです。



かがやきプラザの自慢の職員

内田 亮輔さん
(相談員/社会福祉士・介護支援専門員)

16年前、私が配属されたあさひ苑の頃から、別の施設に異動しても私の苦手とする法的根拠を覚えてもらっていました。現在は同じ部署になり、ソーシャルワーカーとしてエビデンスに基づき、アセスメントから理論づけをし、ご利用者の意思決定を尊重した支援をしている姿を日々目の当たりにし、参考にさせてもらっています。内田さんは物知りなので、全国各地の情報や社会情勢、法改正、ICT他、部署の中では事典のような存在です。

(相談員 比嘉 敦恵)

内田さんよりひと言

ソーシャルワーカーであり続けるためには、普遍的な職業倫理とともに、時代とともに変化する多様性を持つ価値観を受けとめることが大切だと思っています。どうしても年齢を重ねると価値観が固定化し、バイアスをかけてものごとを見ることになってしまい、真実が見えなくなってしまいます。私は、どんなに年齢を重ねても価値観を固定化させずに、新しいこと、新しい世界を知る、学ぶ「好奇心」を失わないことが大切だと思っており、いつまでも柔らかい頭でソーシャルワーカーであり続けます。



泉苑の自慢の職員

天野 英恵さん
(認知症対応型通所介護担当/介護福祉士)

泉苑認知症対応型通所介護「たんぼぼ」を担当しています。ご利用者には勿論ですが、職員にも物腰柔らかく、優しい天野さん。常に優しく穏やかな笑顔でいる天野さんは「たんぼぼの天使」です。優しいだけでなく、芯がしっかりして真面目で、利用者お一人おひとりを良く見て、その人に合ったケアを懸命に考え実践し、周りから意見が出てくると柔軟に物事を考え取入れ改善していく、そんな頼りになる存在です。たんぼぼのご利用者は天野さんがいると安心した穏やかな表情をされており、たんぼぼには欠かせない存在です。そんな天野さんは、実は3人のお子さんがいるパワフルママさんでもあります。公私共に元気で頑張る頼もしい期待のえすです。

(通所係長 長峰 茂子)

天野さんよりひと言

家では大声で叫ぶことも多く、子供たちには「ママ怪獣だ!」と言われることもある私です。20歳で就職し気がつけば人生の半分近くを多摩同胞会でお世話になっております。泉苑デイサービスはご利用者はもちろんのこと、一緒に働くスタッフも人生の先輩ばかり。時には励ましの言葉やご指導を受け、温かく見守られながら働いています。これからも感謝の気持ちを伝える事を心掛け務めていきたいと思っています。



緑苑の自慢の職員

本間 規子さん
(食事係/栄養士)

いつも元気な本間さん。食事係のムードメーカーでもあり、みんなの面倒も見してくれる優しいお母さんのような存在です。食事といえば季節感を出したり彩を気にしたりしますが一番大事なのはやっぱり「味付け」です。本間さんの料理は優しい味付けでいくらでも食べられてしまいます。また、一味足りないなど思った時に本間さんに相談すると的確にアドバイスをしてくれとてもおいしい料理に変化します。本間さんが厨房にいてみんな安心して仕事ができます。

(食事係/栄養士 永井 智)

本間さんよりひと言

気が付けば厨房の中では一番の年長で、ご利用者の気持ちかわかる年齢になっていました。日々「おいしかった!」と言ってももらえる食事を作ることはもとより、ご利用者が安心して食べられる食事をこれからも心掛けて作ろうと思っています。



あさひの自慢の職員

大谷 恵理子さん
(短期入所生活介護リーダー/介護福祉士・認定心理)

大谷さんはいつも朗らかで優しく、職員を中心に頼もしいリーダーです。ご利用者からも「今日は大谷さんいるの?」と求められる声が多く聞かれ、とても信頼されています。細やかな気配りに日々、はっと驚かされ、ご利用者とする飾りなどの工作は、彩りが鮮やかでとてもチャームングなので、私達の周りにはいつも明るく活気に溢れ、元気づけられています。パワフルで引っ張っていく能力があるので、今後がさらにたのしみなリーダーです。乞うご期待です!

(短期入所生活介護 伊藤 博)

大谷さんよりひとこと

私が多摩同胞会に入職したのは18歳。高校新卒としてでした。社会人一年目の私を先輩や上司が優しく教えてくれました。結婚を機に退職しましたが尊敬する上司に声を掛けてもらい復職しました。復職した時は大学で心理ケアについて学んでいる最中でしたが、職場の仲間の理解もありお陰様で無事に卒業することができました!! 再就職後はショートステイの余暇活動に力を入れ、ご利用者一人一人の趣向に合わせた手工芸、園芸、カラオケ等の活動をしています。日々の中でご利用者からはニックネームで呼んでもらい、賑やかに毎日元気をいただきながら過ごしています。



うらら多磨の自慢の職員

高野 幸枝さん・松村百合子さん
若松久美子さん・桑野 芳枝さん
(うらら多磨ホームヘルプサービス/介護福祉士)
(写真左から)

都立野川公園のたもとに小さくも素敵な高齢者住宅とそれを支えるホームヘルパー事業所があります。ホームヘルパーさんは、住宅の入居者だけではなく、地域で生活される百人百様の老いを陰から支える大きな力になっています。涙を笑顔に変える魔法の杖で、まさに苦楽を共にする伴走支援をこれからもよろしくお願いたします。

(あさひ苑地域支援統括責任者 清野 哲男)

高野さんよりひとこと

うらら多磨ヘルパー事業所は調布・小金井と隣接される野川公園の近くにあり。緑が多く環境はとても良いのですが、近くにスーパーがありません。その為ご利用者に買い物を頼まれた時は片道15分かかるスーパーまで全速力です。また、雨の日の移動も自転車なので、ご自宅前でのレインコートを素早く脱ぎ着する要領の良さはピカイチです。仕事には欠かすことのできない愛車とともに、今日もご利用者のもとへ「行って来ます!」



施設 だより



「2022年をふりがえって」

きずな

新たな スタート

3月まで勤めていた幼稚園教諭を辞め、母子生活支援施設の職員となり、私にとって変化の年だった2022年。子どもを支援するという視点
は前職と変わりませんが、関わり方、支援の方法
は今までとは異なります。その違いに新鮮さを感じ
る一方、最初は戸惑いもありました。役に立つ
ことができないうちに自分に苛立ちを覚えることをもあ
りました。温かく、
陽気な先輩方に優し
く指導していただき、
少しずつ仕事を覚え
ることができていま
す。

今は少年指導員4
人体制で学童の子ど
もたちと向き合っ
ています。各少年指導
員、それぞれの価値
観がぶつかることも
ありますが、子ども達、
母親の明るい未来のため
に、自分たちができることを考え、
チームで支援
していきたいと思っております。

少年指導員(保育士) 阿相 奏恵



しらとり

春夏秋冬 おいしい体験!

今年度のしらとり保育室は「食べ物に興味
をもつて楽しく食事をする」ことを目的に食育
に力を入れていきます。調理の職員と連携し、色々
な食材に触れる体験を行ってきました。
芋類や落花生の収穫体験、人参の型抜き、
この房取り・かぼちゃの種取りなどの調理体験、
バナナジュースやトウモロコシご飯を目の前で
作ってもらうという調理実演を見る体験。これ
までに食育活動で触れてきた食材を数えると、
全部で18種類もありました。

給食に自分たちが触れた野菜が出てくると、
いつも以上に食が進み、
苦手な食材も挑戦する
姿が増えたように思っ
ます。その結果、免疫力
が高まり体調を崩すこ
となく、毎日元気に過ご
しています。これからも
調理と連携して子ども
たちが楽しく食事がで
きる環境を整えていき
たいです。

保育担当(保育士) 菅沼由香



たち

そろりまめクラブ 始まりました!

2022年度から新しい交流会の「そろりまめク
ラブ」が始まりました!
そろりまめクラブは0歳〜3歳のふたご・みつこの
お子さんとご家族の方が対象の交流会です。11月
までに4回の交流会を終え、延べ29組101名の
ふたごのお子さん
とご家族にご参加
いただきました。

たっちは他に
もいくつかの交流
会を開催している
ので、交流会は何
度も経験している
ものの、ふたごの
お子さんとご家族
の交流会は初めて
ということもあり、
ドキドキワクワク
のスタートでした
が、参加される方
同士の交流の様子
や、かわいいふた
ごちゃん達に元氣
をもらったり、と
てもあたたかい
雰囲気な交流会に
なっています。

交流ひろば(保育士) 山田 恵未



たっちの自慢の職員

細谷 美沙さん
(ファミリー・サポート・センター / 保育士)

この4月、たっちの仲間になり、ファミリー・サポート・センターの
アドバイザーとして活躍している細谷さん。これまでの児童福祉施設の
現場から地域支援の現場へと目まぐるしい変化の中でも、着実に業務を
身につけて、アドバイザーとしても着々と力をつけてきています。また、
たっちの受付や講座の保育や地域のイベントなど、多岐にわたる業務も
担い、すでなくてはならない存在です。穏やかな雰囲気の中に安定感
のある細谷さん、頼りになる自慢の職員です。(センター長 寺嶋 恵美)

細谷さんよりひと言

今年度4月からたっちに異動し、ファミリー・サポート・センターの
アドバイザーとして会員さん同士を繋ぐ橋渡し役をしています。以前は
母子生活支援施設で保育士、母子支援員をしていたので、当初は全く異
なる業務や施設の様子に戸惑うことばかりでした。特にファミサポなら
ではの間接的な支援方法を受け入れ、慣れるまでに一番時間を要しました。
毎日まわりの職員の方々のサポートや励ましを受け、少しずつですが1人
でもできることも増えてきました。今回たっちの自慢の職員として選んで
いただけたことに恥じないよう、これからも日々の業務に向き合い頑張っ
ていこうと思います。



事務局の自慢の職員

数納 明子さん
(母子支援員 / 保育士)

ある時はご利用者に寄り添う支援員、ある時は健全な財務管理に目を光ら
せる出納責任者、またある時は係長としてお母さん担当職員たちの頼れる
リーダー、更に子どもたちを温かく見守る事務所のお姉さま、しかしてその
実体は…「きずなの数納明子」なのでした。(きずな施設長 片岡 高博)

ゆったりと優しいトーンで話される数納さんですが、経理や事務の仕事は
的確でテキパキとこなし、困った時や質問などには、とても丁寧にわかりや
すく説明していただけます。きずなで一緒に勤務していた時にも、お母さん
方も穏やかに関わっている姿がとても印象的でした。今でも大変頼りにし
ている先輩職員です。(しらとり 嶋田 歩)

事務局では、きずなの母子支援員と事務を兼務されている数納さん。経理
や勤怠の件など、きずなのことなら数納さんに聞けば大丈夫と、いつも安心
して頼らせていただいています。事務局の仕事では見えていない、きずなで
の姿を、近くで見ている方々からお話を聞いてみると、やっぱり頼りにされ
ている!自慢の先輩でした。(事務局本部 西郷加代子)

数納さんよりひと言

事務局と母子支援員との兼務で大変なことは?と聞かれることもありますが、
私は兼務の大変さを今まで感じたことがなく、経理事務も母子支援員も
どちらもやりがいを感じて携わらせてもらっています。それはきっと、ご利用
者の笑顔と、同じ部署の仲間や先輩の方々のたくさんフォローと支えがあ
るからこそだと感じています。時々ツブツブ言いながら眉間にシワを寄せて電卓を叩
き、声をかけづらい雰囲気を感じているようなので…そこは気を付けながら、これ
からも日々元気にご利用者と関わり、事務局職員として職員をサポートし、経理業務
に携わっていきたくと思っています。



きずなの自慢の職員

山城 克之さん
(少年指導員 / 社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師)

子どもたちから「山ちゃん山ちゃん」と慕われまわりつかれ追いかけ
まわされている、学童担当の主任・山城さんです。現場では前述の通り
で、遊びに宿題に相談にと活躍しています。書類仕事などはほぼその
日のうちに仕上げるなど、私にはない仕事のスピードも備えています。
一緒に組むようになって一番目を引いたところは、いろいろな立場の
相手の懐に飛び込む早さです。関係機関の職員や学校の先生ともいつの
間にかフランクにやり取りをしながらいろいろな話を引き出すのは、多
くの人と関わる中で身に付けた特技ですね。(少年指導員 小島 宗宏)

山城さんよりひと言

学童では、下校後の子どもたちと遊びを通して関係性を築いていきます。
その他、夏休みのキャンプや川遊びなど年間行事をともに体験すること
で、子どもたちとの信頼関係がより一層深まることを実感しています。
日々子どもたちとかがかかっていると、子どもたちの柔軟性や成長のス
ピードに驚かされます。これまで私たちが想像も絶するような辛い体験
をしてきているにもかかわらず、決して心が折れることなく、時には怒
り、時には泣き、時には笑い、またある時には喜ぶ等、人として大切な
ものを失わずに進む姿は、自分自身にとって大きな変化をもたらしてく
れました。学童の少年指導員として、網代ホーム
きずなでたくさん子どもたちと出会えたことは、
一生の宝物です。



しらとりの自慢の職員

阿部 泉妃さん
(保育担当 / 社会福祉士・保育士)

優しくて穏やか! ポスター作りが得意で、阿部さんが作成する季節ご
とのおたよりは、保育中のお子さんの姿が垣間見えてお母さんたちにも
好評です。いつも落ち着いている阿部さんですが、行事等で職員がダン
スや体操などを披露することになった時には、ノリノリでやり切ります!
練習している姿を見せずに完璧に振り付けを覚えてくるのはかっこ
いいです。また、保育で活かせるように乳幼児救急支援員の勉強をして
いると先日の雑談の中で知りました。常に向上心を持って人知れず努力
する姿に、パワーをもらっています。子どもたちも優しい「泉妃ちゃん」
が大好きです!(保育担当 菅沼 由香)

阿部さんよりひと言

昨年度入職し、少しずつ慣れてきたところもありますが、まだまだ学
ぶことが多いと感じています。子どもの素敵な笑顔や成長を見ること
ができることも嬉しくなります。日々の保育で難しさを感じることもあ
りますが、先輩方に支えていただきながら楽しく保育をすることができ
ています。これからも子どもやお母さんが安心でき、楽しく居心地の
良い保育室になるように努めていきたいと思います。





岩本町

得意なものを 活かして

岩本町ほほえみプラザのデイサービスでは、毎月ゲーム大会や工作など皆様に楽しんで頂けるよう工夫をこらしています。またご利用者自身で活動の選択ができるよう書道や塗り絵、編み物などのメニューも用意しています。

肌寒くなるこの季節は、マフラーを編んでいます。手編みができる職員が少ないので「ここは、この編み方じゃない方がいよいよね。」「ここは、どうしたらいいと思う？」など考えて製作している姿にいつも感心させられています。

また、コロナ禍のためゲームは個人戦がほとんどですが、コロナが収束したら対戦形式や大人数で盛り上がるようなゲームで楽しみたいですね。

介護員 (介護福祉士) 君塚 美紀

泉苑

見えない敵と 闘う中で

新型コロナウイルスが出現し、もうすぐ三年です。変異しながら猛威を振るう未知のウイルスに対し、その都度対策を迫られました。2022年についても隙を突く潜入があり、落胆している間もなくウイルス駆除、拡大防止に奮闘した1年となりました。心身共に消耗する中、見えない敵との終わりのない闘いは、私達が乗り越えなくてはならない大きな試練となりました。

ご利用者の皆様方にもご不便な思いをさせてしまい、申し訳なく思っています。同時に共に闘い、元気にこの一年乗り越えて下さったことに、感謝の気持ちでいっぱいです。大変な時でも、皆様の笑顔に我々職員が癒していたいた場面が、本当に沢山ありました。

まだまだ闘いは続きますが、来年はご利用者も職員も沢山笑顔になれるよう、明るく元気に過ごしていきたいです。来年もよろしくお願ひします。

ホーム看護係長 (看護師) 鈴木佐知子



緑苑

3年ぶりの 式典開催

緑苑では9月18日(日)に、敬老のお祝いの式典を3年ぶりに西地域交流スペースに集合して開催することができました。今年は、希望されたご家族の方にも式典に参加していただき、最高齢の103歳の方にもご挨拶いただくなど、和やかな雰囲気で開催することができました。

また式典当日とその前週には、今年度緑苑に入職した新入職員が歌と踊りの余興を、ご利用者の悲鳴(?)と笑いを受けながら披露するなど、つかの間ではありましたが、緑苑に新入職した私にとっても思い出に残る一日となりました。



式典もお祝いの余興も、皆が集まって一緒にできることの素晴らしさを再認識させてくれました。

来年は、ご利用者も職員も全員がマスクを外した素顔で、そして笑顔で開催できる日が一日でも早く来ればいいな、と心から願っています。

包括支援センター相談員 (社会福祉士) 妹尾直和

かがやき

生活支援 コーディネーター 元年!

今年度から、かがやきプラザ相談センターは生活支援コーディネーターとして高齢者が住みやすい地域づくりに取り組んでいます。この事業の難しさの一つに「地域づくり」は曖昧で抽象的、短期的には結果が見えづらいことがあげられます。

そのような中、千代田区内で衣類を売っているお店が少ないのではという課題から、「高齢者の衣服・衣類購入について」の切り口で在宅部門の事業所に対してアンケートを実施し、100名から回答をいただきました。衣食住はすべての人に必要であり、なおかつ個人の幸福につながる、とてもいいテーマ設定であると感じています。今後は区民・企業・大学・すみれ会などと連携し、より具体的な活動を実施していきたいと思えます。

相談員 (社会福祉士) 津留喜久江



あさひ苑

ご利用者と 一緒に健康を 目指して

今年一年を振り返ると、健康になれるようにダイエットをした事が私の一番頑張った事です。去年から18kgも痩せる事が出来ました。あさひ苑で働いていてご利用者が召し上がる栄養管理された健康的な食事や毎月の体重管理を実際に見て、自分はこのままで良いのだろうかと思った事がきっかけでした。

あさひ苑の献立を自分も真似したら痩せるのではと食事に気を遣うようになりました。お陰で痩せる事が出来て、ご利用者ともダイエットの話で盛り上がる事もできました。

自分自身の健康の意識を変えるきっかけを作ってくれた、あさひ苑の食事とご利用者にはとても感謝しています。健康のためにも今後も続けていきたいと思えます。

ホーム介護職員 (実務者研修修了) 鹿島佑太



連雀

その手で守る 皆の健康

かんだ連雀では感染症対策として手洗い、ガウンテクニック、吐しゃ物の処理を行う研修等を実施しています。

どの研修も安全に高齢者のケアを行う上では欠かせないことですが、今年の4月にそれらを実際に現場で実践する出来事がありました。かんだ連雀ホームにおける新型コロナウイルスの感染報告です。お一人の利用者の発熱をきっかけに1フロアの約半数の方が罹患されてしまう事態となった、いわゆるクラスターの発生でした。

かんだ連雀初めての緊急事態に緊張が走りましたが、管理職と看護チーム、現場との連携を軸とし、日頃研修で学んだ感染対策が功を奏して、クラスターは約一か月で収束し、その間の職員の新型コロナウイルス罹患者はゼロでした。改めて、研修の意義と日頃の心構えの大切さを実感した2022年度、始めの月でした。

ホーム介護員 (介護福祉士) 鈴木貴史



ニュースミニ I

緑苑

昼食会再開!!

新型コロナウイルス感染症により、約2年半にわたり中止にしていた昼食会が復活しました。

10月からは、ボランティアの方々のご協力をいただき、毎週月曜日・木曜日、11時45分から13時30分で昼食を提供しています。心配される感染症予防では手洗いやがいほもろんのことアルコール消毒やパーテーション設置など対応をしっかりと行っています。

再開してご利用者からは「緑苑の食事はやっぱり美味しいわね」「一人で食べるより皆と食べた方が楽しいわ」というお言葉を頂いています。

以前のように365日毎日の提供までは時間がかかってしまうかもしれませんが、少しずつ賑わいが戻って欲しいと願います。是非ご利用下さい。

食事係(栄養士) 永井智



ニュースミニ II

岩本町

ボランティア活動再開!!

ボランティアの受け入れを再開しました。コロナ禍はオンラインで画面越しでボランティアの先生と対話したり、教えていただいたりしていましたが、ようやく施設まで来ていただいて活動ができるようになりました。

デイサービスの敬老会余興も昨年は職員だけでしたが、今年はマジックショーのボランティアの方にお越しいただきました。目の前でショーを見るのができてご利用者の皆さまも大変喜ばれ、「おー」と拍手喝采でした。ボランティアの方々との交流が持てるのが楽しみです。

通所介護職員(介護福祉士)

三浦明日香



ボランティアの御協力ありがとうございます

(敬称を省略させていただきます)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年2月よりボランティア活動のほとんどを中止してきましたが、少しずつご協力を再開していただいています。

市川知子 今福進 大間洋子 紮野美千代 菊池和彦 北島美恵子
北村よしこ 具嶋郁子 黄美華 児島豊 古藤龍慎 小林わか子 小柳亜樹子 佐々木淑子 下江美鈴 すみれ会 関根幸子 高倉祥子
高橋ヤヨイ 滝沢冷子 栃谷さき 中田由香里 根深正子 野口幸代
宮崎清子 三輪孝子 村井福子 柳谷夏見 山田朋美 脇山令子
渡辺弘子 (2022年9月~2022年11月)

御寄贈・御寄付ありがとうございます

(掲載を可とされた方のみのお名前です。)

(敬称を省略させていただきます)

一般社団法人cornerstoneI-SHI-ZU-E 国際ソロプチミストあきる野 全国食支援活動協力会 田中哲弥 株式会社包む トレカで遊ぶ子どもを笑顔にする会 永井よし子 有限会社庭商店 府中若松苑 ポートレス多摩川運営協議会事務局 明治安田生命千代田支社 明和営業部 吉野博文 若狭夏海 脇山令子 和田由里子 (2022年9月~2022年11月)

介護に関するご相談は無料ダイヤルで!

- 泉苑 老後支援 24時間
☎0120-6540-24
- あさひ苑 福祉にっこり 24時間
☎0120-2942-24



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



今年、家族介護であったという間の1年でした。大変なことでも沢山ありますが、親と沢山話す機会にもなって良かったと思います。

(泉苑 古澤むつみ)

(緑苑 鈴木律子)

人生の秋に突入。価値観にかなりの変化が生じた1年。振り返った時、きつと今が一番見応えがあるかも。

(あさひ苑 佐藤知也)

(編集長 上野廣美)

2022年を振り返り

編集後記

今年あまり変化のない年でした。来年は新たな資格にチャレンジしてみたいと思います。

今年も仕事・育児と忙しかったのですが、旅行にも久しぶりにいって充実した1年でした。

(さすな 高橋風子)

(あさひ苑 玉城多美子)

新たに任せてもらう仕事が増え、苦戦しながらもやりがいのある1年でした。

濃厚であったという間の1年でした。体調も崩したので、体調管理の大切さを思い知りました。

(たつち 恩智温子)

(岩本 三浦明日香)

家族がひとり増えました。お転婆なボーダーカラーの女の子です。

マスク中に笑顔を忘れないよう、楽しみを作りながら過ごしました。

(泉苑 堀内賢治)

(本部 西郷加代子)

日常生活を当たり前に過ごせることの貴重さを痛感した1年でした。

大河ドラマ「鎌倉殿」の舞台となった場所を訪れてご先祖様を偲びました。

(事務局 青木志乃)

(岩本 三浦明日香)